

「マーケットの浅読み・深読み」

発行・編集:FXニュースレター

執筆担当:斎藤登美夫



◆◆◆ No.0714 ◆◆◆

22/11/24

【 今年のドル/円、年間変動幅は歴代 8 位・同率は 1 位に 】

まだ 1 ヶ月強を残しているものの、ドル/円については今年の年間レンジがすでに確定したと言ってよいのかもしれない。すなわち安値は 1 月 24 日の 113.47 円、高値は 10 月 21 日の 151.94 円となる。これを受けた、2022 年の年間変動幅は 38.47 円、変動率は 33.41% だった。以前にもレポートしたことがあるように、今年の変動率は過去最高で歴代トップ、変動幅も歴代 8 位の好記録だ。(下表参照)

◎ポンド/円は結果小変動、過去の平均的な年間変動幅・率にとどかず

改めて指摘するまでもなく、2018-20 年のドル/円はかなりの小動きだった。とくに 2018 年と 2019 年は変動幅 10 円以下、変動率も 10% 以下にとどまり、一時は日経新聞などのメディアでも「オワコン」扱いされるほどだったが、今年華麗に復活を果たしただけでなく、前述したように歴代有数の変動をたどっている。

ちなみに、振り返るにはいささか早いですが、それでも今年ドル/円変動要因を考えると、もっとも大きな要因は「日米金利差(の拡大)」だったと言って間違いない。正直筆者は、金利差は為替変動要因のひとつに過ぎないとし、どちらかというところ軽んじる傾向にあるのだが、今年の「日米金利差」はテクニカルや需給要因などを大きく上回る価格変動の最重要要因。過去最大の変動率を記録したという結果だけを見ると、1985 年の「プラザ合意」や 1990 年代初頭の「日米貿易摩擦」、1998 年「リーマン・ショック」一などを上回る市場の大変動要因だったとさえ言えそう。

一方、そんな歴史に残る変動をたどった(≒現在進行形で「たどっている」)今年ドル/円相場に対し、ユーロ/ドルやユーロ/円など主要 4 通貨ペアの変動はいったいどうなっているのだろう。調べてみると、ユーロ/ドルとユーロ/円、ポンド/ドルの 3 通貨ペアは過去の平均的な年間変動率を上回っているが、ポンド/円だけは平均にとどいていない。しかし、それでも今年の変動幅 23.31 円で 2016 年以来、変動率は 14.96% となりこちらは 2019 年以来の大きさだった。決して、まったく動いていないというようなわけではないことがみてとれる。つまり、ドル/円ほどとはいかないが、今年の為替市場はおおむね大相場だったと言って間違いない。

とは言え、今年一年を振り返ってみると、ユーロについては何と言っても「ロシアのウクライナ侵攻」という、これまた歴史的なニュースが聞かれたほか、ポンドに関しては EU 離脱から 1 年を経て国内外で様々な問題が噴出。とくに夏以降は、ジョンソン首相の辞任にはじまり、後任のトラス氏もわずか 45 日で辞任となるなど英政局は波乱含みだった。そうした材料面に着目してみると、もっと動いても不思議はなかったように思われる。材料の割に、市場の反応はやや鈍かったと考えられなくもない。

ただそれでも、たとえばポンド/円のチャートを見ると 150-170 円といったかなり広いレンジでの往来相場をたどっている。ドル/円のような一方向の動きにならなかったため、結果として小さな年間変動幅そして変動率にとどまった感を否めない。

したがって、往復あるいは上下動に要した「変動」と考えると、歴代でもなかなか大きなもので、「隠れ変動率」では上位に位置する内容となっている。まだいささか早いものの、大荒れの展開をたどった 2022 年も徐々に終わりへと近づくなか、気になるのは来年の金融市場だ。果たして、今年の流れを継ぐ格好で来年の相場も「荒れ模様」となるのだろうか。(了)

年	変動幅	年	変動率
1 1978	67.80	1 2022	33.41
2 1985	63.85	2 1979	28.76
3 1980	61.85	3 1978	28.16
4 1982	60.80	4 1982	27.66
5 1979	56.85	5 1998	27.70
6 1986	56.75	6 1980	25.54
7 1981	48.70	7 1990	25.47
8 2022	38.47	8 1986	25.29



当レターは、情報提供のみを目的としたものです。内容に関して正確であるよう注意を払っておりますが、その正確性を保証することはできません。投資や運用にあたっての最終的な判断は、あくまで読者自身の責任と判断によって、ご利用いただくようお願い申し上げます。また、本稿の無断転載・転送もご遠慮ください。

なお、本稿に関する問い合わせは『FXニュースレター』までお願い致します。

